

乳幼児期の生育歴、生活態様がその後の保健行動、健康状態に与える影響
(分担研究：学習・遊びと子どもの健康に関する研究)

研究協力者報告書

三瀬順一

五十嵐正紘

要約：乳幼児期の運動や育児法などの生活態様がその後の保健行動、健康状態に与える影響を明らかにするため、北海道A町、岩手県F町、茨城県S町の小学校2年生、5年生、中学2年生とその保護者1024組を対象に自記式調査票を用いた調査を施行し、全体で33.3%から回答を得た。

健康状態 乳幼児期の生活歴、生活態様には、現在の愁訴の多さ、自覚的健康度、健康不安、肥満度に関係があることが含まれていた。保育者が母親であったこどもは祖母であったこどもより、小学校5年生での愁訴が多い。幼児期に習い事をしたこども、と屋内遊びの多かったこどもに現在の愁訴が多い。自然環境、社会環境、住宅事情、母親の就業、しつけの態度、通園、集団遊び、睡眠はいずれも現在の健康状態には関係を認めなかった。

保健行動 小学校低学年から保健行動の多様性が認められた。小学2年生でも自分の意思で保健行動を起こすことが明確になった。保健行動は成長にともなって自立度が高くなることがわかった。不安や困ったことが起きたとき頼りになる人がいないと感じるこどもは中学2年生では回答者の17%に上った。歯磨き、予防接種の意義については学校での保健指導が普及していることが窺えるが、たばこを健康と関連づけて考えるこどもは小学2年生で70%なのに対して中学2年生では41%に過ぎなかった。運動を健康のためにするという中学2年生は18%にとどまっている。保健行動に関連する福祉の考え方は、保護者の考え方や学校教育の内容が反映しているものと推定された。

見出し語： 保健行動、健康調査、乳幼児、行動発達、親子相関

研究目的：こんにち、成人病やストレスなどライフスタイルの影響が大きい健康問題が増大している。乳幼児期の育てられ方、環境とその後の保健行動、健康状態の関係を明らかにすることで、望ましいライフスタイルなどの保健指導の根拠となる資料を提供する。

また、小児期の保健行動や病気対処行動と健康信念を示す評価基準や説明モデルを確立する。

とくに学習、遊び、運動、睡眠とその後の健康状態との関係を明らかにする。

研究方法：1、後ろ向き調査。自記式(質問紙法)。質問紙は、児童・生徒用と保護者用を作成し、分析した。児童・生徒用は、学年により字の大きさや漢字の使用頻度、言い回しを工夫した。

2、研究の対象(1)選別様式 北海道A町、岩手県F町、茨城県S町の小中学校11校に在籍する児童生徒を対象に教育委員会から担任教員を通じて親子一組の調査票を配布して、無記名で親子を別々に郵送で回収した。(2)対象の抽出方法 各町内の小学校2年生小学校5年生、中学2年生。学校の事情により、学級を選んで実施したところもある。(3)対象者数小学2生290名、5年生330名、中学2年生404名とその保護者の合計1024組。

3、測定変数 Outcome Valuaesとして、現在の健康

状態(東大式健康調査票ジュニア版 THI-Jを用いる、小学校5年生と中学校2年生のみを対象とした。)、欠席日数、自覚症状、自覚的健康度、健康不安、現在の保健行動、病気対処行動(保健信念、保健行動、保健規範に関する質問を自作した)を明らかにする。

Predictive Valuablesとして、乳児期(0~1歳)幼児期前期(2~3歳)幼児期後期(4~5歳)の運動、遊び、食事、友だちづきあい、社交性、積極性、しつけ、育児方針、父親の育児参加、病気の頻度などについて保護者から、回答を求めた。

解析手法：単純集計、クロス集計など。パーソナルコンピュータDESKPRO66m(COMPAQ)上で統計ソフトウェアSPSS(Chicago)6.1for WINDOWSを利用した。

回収率33.3%(親子とも回収できたものを解析の対象としたため、33.3%の回収率にとどまっている。

(表1、表2、表3)

表1 児童・生徒の学年別回収率

	配布数	回答数	回収率(%)
小学2年生と保護者	290	109	37.6
小学5年生と保護者	330	110	33.3
中学2年生と保護者	404	122	30.2
計	1024	341	33.3

表2 地域別回収率

	配布数	回答数	回収率(%)
			子ども/保護者
北海道A町	261	71/78	27.2/29.9
岩手県F町	404	188/194	46.5/48.0
茨城県S町	359	161/168	44.8/46.8
計	1024	341	33.3

表3 性別回答者数

	小2	小5	中2
男	48	51	52
女	51	56	69
N.A.	10	3	1
計	109	110	122

結果および考察：

1. 変数の採用

(1) 従属変数

現在の健康状態を示す指標として次の従属変数を採用した。(項目の後の記号番号は付表の単純集計結果の質問番号を示す。)

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の
愁訴の項目の合計得点

自覚的健康度	A1
将来への健康不安	A2
肥満、やせの程度	BMIによる5分類

(2) 説明変数

平成6年度に岐阜県K村で施行したパイロットスタディーを参考にして、健康状態に影響を与える因子として次の変数を採用した。(項目の後の記号番号は付表の単純集計結果の質問番号を示す。学習・遊び・運動・睡眠と直接関係のない項目は、付録に結果だけ示した。)

(1)自然環境・社会環境・家庭環境

社会環境	HO-C1,D1
自然環境	HO-C2,D2
家屋	HO-C3,D3
母の就業の有無	HO-C5,D5

(2)しつけ

泣いたときの対応	HO-C6,D6
激しいおねだりへの対応	HO-C7,D7
叱り方	HO-C8,D8
主な保育者	HO-C9,D9
しつこい疑問への親の対処法	HO-D24

(3)学習

通園の有無	HO-C10,D10
習い事の有無	HO-C11,D11
早期英才教育の有無	HO-C12,D12

(4)遊び

遊び場のようす	HO-C13,D13
集団遊びの有無	HO-C14,D14
友だちとの遊び方	HO-C15,D15
友だちに叩かれたときの子の対処法	HO-C16,D16

(5)睡眠

寝具	HO-C21,D21
一緒に寝る人	HO-C22,D22

*HO-は保護者への質問、Cは幼児前期(2-3歳)、Dは幼児後期(4-5歳)に関する質問

2. 仮説と結果

上記の説明変数(1)~(5)の順に単純集計、説明変数-従属変数についてクロス集計した。

このとき、表4のように数値を変換して最右列の統計量をもって、両変数が関係ありとする仮説が棄却できるかどうかを考察し、ついで、関係ある時は、その仮説について考察を加え、関係ない時は一部に考察を加えた。

表4 変数の性質別に用いた統計量の例

説明変数	従属変数	統計量
数値→カテゴリー化	順序尺度	CramerのV
順序尺度	順序尺度	のSIGNIFI-
名義尺度	順序尺度	CANCE*
数値→カテゴリー化	名義尺度	CramerのV
順序尺度	名義尺度	のSIGNIFI-
名義尺度	名義尺度	CANCE*
数値→カテゴリー化	数値	平均値
順序尺度	数値	の差
名義尺度	数値	の検定
数値	数値	相関係数

*この統計量は、いずれかの変数のカテゴリー数が2の時はPhi係数と等しく2変数ともカテゴリー数が2の時は、カイ2乗値に等しい。

なお、クロス集計表は次の凡例により示した。

凡例		小2	小5	中2	解説等
●	説明変数				
	従属変数	各々に対応する統計量			

(0) 従属変数の単純集計

A-1

いま、自分は健康だと思いますか。

	小2	小5	中2
1.はい	89	79	60
2.どちらかといえば健康	17	23	47
3.どちらかといえば健康でない	3	5	12
4.健康でない	0	2	2
N.A.	0	1	1
計	109	110	122

A-2

これからさき健康に不安がありますか。

	小2	小5	中2
1.ある	21	12	6
2.すこしある	44	47	43
3.あまりない	13	27	47
4.まったくない	30	24	24
N.A.	0	0	2
計	109	110	122

BMI(Body Mass Index)による5分類

	小2	小5	中2
やせすぎ(BMI<17.6)	68	49	12
やせ気味(17.6=<BMI<19.8)	16	29	46
ふつう(19.8=<BMI<24.2)	7	19	47
太り気味(24.2=<BMI<26.4)	1	4	5
太りすぎ(26.4=<BMI)	0	0	6
N.A.	17	9	11
計	109	110	122

(1) 自然環境・社会環境・家庭環境

●自然環境

(幼児期に過ごしたところは) どんな自然環境でしたか。

HO-C2

2-3歳	小2	小5	中2
1.気候温暖	51	27	41
2.豪雪の寒冷地	3	2	1
3.雪の少ない寒冷地	48	75	73
4.その他	6	5	6
N.A.	1	1	1
計	109	110	122

今回の調査は、雪の少ない寒冷地と関東地方で実施したため、偏った分布となった。

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の愁訴の点数ランク

	小5	中2
1 愁訴に関する点数が満点の50%未満	5	10
2 50%以上75%未満	56	51
3 75%以上90%未満	51	50
4 90%以上	13	10
計	125	121

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)は自記式の健康調査票で、身体的愁訴と神経症傾向、不安傾向、抑うつ傾向等に関する110の質問で構成されている。各質問はいつもあるを3点、ときどきを2点、ないを1点として集計し、不安、抑うつ、神経症傾向、外向性、逸脱傾向、直情性、虚構性と多愁訴の8つのカテゴリーごとに点数を合計し、その分布のパターンでいくつかの類型を定めている。ここでは、そのうち、最も健康状態に関連ある愁訴の点数についてすべて3点でこたえたものを100%、すべて1点でこたえた33.3%となるように変換し、上記のごとく4段階に階層化した。

自覚的健康度(A-1)、将来への健康不安(A-2)

子どもは楽天的だと考えられやすいが、児童生徒の間で、健康への不安は、一定程度存在する。また、小学2年生ですでに、自分の健康状態について判断が可能である。

あきらかに健康でない状態の児童生徒は欠席しているか、長期不登校になっていることが想像されるし、障害をもった児童生徒は養護学校に在籍している可能性があるのも、これがこの年代の自覚的健康度と健康不安の全体を表しているわけではない。

BMI

太りすぎの子どもは少ない。

愁訴

いろいろな愁訴の多い子どもは半数に達しており、子どもたちが高率に身体の不調を訴えていることがわかる。

HO-D2

4-5歳	小2	小5	中2
1.気候温暖	52	27	42
2.豪雪の寒冷地	3	1	2
3.雪の少ない寒冷地	47	77	73
4.その他	5	4	4
N.A.	2	1	1
計	109	110	122

生育環境とその後の健康状態の関連については、はっきりした関連は見いだせなかった。

HO-C2	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の			
愁訴の項目の合計得点	-	0.12561	0.28361
自覚的健康度	0.00047**	0.87355	0.39162
将来への健康不安	0.43592	0.41901	0.68941
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.93032	0.19412	0.00028**

HO-D2	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の			
愁訴の項目の合計得点	-	0.02122**	0.28955
自覚的健康度	0.00008**	0.93693	0.00002**
将来への健康不安	0.44543	0.09407*	0.76267
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.20666	0.19668	0.00008**

小学5年生 4-5歳の時の自然環境	愁訴			
	人	~50%	50-75	75-90
1.気候温暖	1	9	18	2
2.豪雪の寒冷地				1
3.雪の少ない寒冷地	4	44	31	8
4.その他		1	2	2

寒冷な地域で4-5歳の時期を暮らしたほうが、現在の愁訴は少ない。
(小学校5年生)

● 社会環境

この時期に住んでいたところはどんなところですか。

HO-C1	2-3歳		
	小2	小5	中2
1.住宅地	59	39	53
2.商業地	3	2	5
3.農山漁村	40	63	58
4.その他	6	5	5
N.A.	1	1	2
計	109	110	122

HO-D1	4-5歳		
	小2	小5	中2
1.住宅地	60	36	53
2.商業地	3	2	7
3.農山漁村	39	67	57
4.その他	6	4	2
N.A.	1	1	3
計	109	110	122

HO-C1	2-3歳	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点	-	0.32742		
自覚的健康度	0.00069**	0.07637*	0.02675**	
将来への健康不安	0.67769	0.69707	0.75571	
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.53512	0.47738	0.40395	

回答が1.住宅地と
3.農山漁村に集中して
いるため、見かけ上、
独立に見える。 **

HO-D1	4-5歳	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点	-	0.14536	0.08989*	
自覚的健康度	0.00080**	0.02452**	0.30400	
将来への健康不安	0.64540	0.81214	0.08819*	
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.29923	0.29749	0.93177	

● 家屋

どんな家屋にすんでいましたか。

HO-C3			
2-3歳	小2	小5	中2
1.庭付き一戸建て	86	92	102
2.集合住宅	17	14	13
3.間借り	5	3	5
N.A.	1	1	2
計	109	110	122

HO-D3			
4-5歳	小2	小5	中2
1.庭付き一戸建て	92	95	105
2.集合住宅	12	10	10
3.間借り	4	4	5
N.A.	1	1	2
計	109	110	122

HO-C3	2-3歳	小2	小5	中2	
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の					持ち家の一戸建てに すんでいたとの回答が 圧倒的に多かった。
愁訴の項目の合計得点					
自覚的健康度		0.34912	0.26282	0.00114**	
将来への健康不安		0.87581	0.47983	0.95849	
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.44827	0.72427	0.21340	

HO-D3	4-5歳	小2	小5	中2	
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の					
愁訴の項目の合計得点					
自覚的健康度		0.16109	0.57421	0.96196	
将来への健康不安		0.58705	0.73733	0.72933	
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.80013	0.65489	0.40976	

● 母の就業の有無

お母さんは仕事を持っていましたか。

HO-C5			
2-3歳	小2	小5	中2
1.はい	48	67	71
2.いいえ	60	42	49
N.A.	1	1	2
計	109	110	122

HO-D5			
4-5歳	小2	小5	中2
1.はい	66	85	78
2.いいえ	43	39	43
N.A.	0	1	1
計	109	125	122

HO-C5	2-3歳	小2	小5	中2	
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の					
愁訴の項目の合計得点					
自覚的健康度		0.29098	0.63343	0.04521*	
将来への健康不安		0.58260	0.95903	0.34092	
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.30518	0.84482	0.83268	

HO-D5	4-5歳	小2	小5	中2	
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)のタイプ					
愁訴の項目の合計得点					
自覚的健康度		0.03951**	0.88644	0.15230	
将来への健康不安		0.69369	0.78908	0.09948*	
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.75216	0.26131	0.78951	

4-5歳の時の母の就労		自覚的健康度		
小学2年生	人	健康	まあまあ	不健康
1.あり		49	14	3
2.なし		40	3	0

● 主な保育者

主にお子さんの面倒を見ていたのは誰ですか

HO-C9				HO-D9			
2-3歳	小2	小5	中2	4-5歳	小2	小5	中2
1.母親	77	53	73	1.母親	77	58	77
2.祖母	22	42	38	2.祖母	19	54	34
3.祖父	1	0	0	3.祖父	0	1	0
4.その他	1	2	6	4.その他	3	1	4
N.A.	8	13	5	N.A.	10	11	7
計	109	110	122	計	109	125	122

HO-C9	2-3歳		
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の			
愁訴の項目の合計得点			
自覚的健康度	0.27286	0.75033	0.60515
将来への健康不安	0.88787	0.93083	0.73318
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.19958	0.49939	0.75450

HO-D9	4-5歳		
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の			
愁訴の項目の合計得点			
自覚的健康度	0.15309	0.98436	0.29119
将来への健康不安	0.73542	0.85778	0.73203
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.19956	0.82610	0.58982

小学5年生 2-3歳の時の主な保育者 人	愁訴			
	～50%	50-75	75-90	90～
1.母親	1	26	27	7
2.祖母	2	21	19	5
3.祖父				
4.その他	1	1		

現在小学校5年生の子どもでは、2-3歳、4-5歳の主な保育者が母親である子どもは、祖母である子どもより、有意に愁訴が多い。 **

小学5年生 4-5歳の時の主な保育者 人	愁訴			
	～50%	50-75	75-90	90～
1.母親	1	24	26	7
2.祖母	3	25	20	6
3.祖父			1	
4.その他	1			

(2) しつけ

● 泣いたときの対応

お子さんが泣いたときどのようにしていましたか。

HO-C6				HO-D6			
2-3歳	小2	小5	中2	4-5歳	小2	小5	中2
1.泣き止むまでほおっておい	26	20	35	1.泣き止むまでほおっておいた	78	74	77
2.すぐだっこした	76	77	76	2.すぐだっこした	22	41	31
N.A.	7	13	11	N.A.	9	10	14
計	109	110	122	計	109	125	122

HO-C6	2-3歳	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
		-	0.83287	0.80109
自覚的健康度		0.86630	0.76150	0.69885
将来への健康不安		0.07223*	0.32242	0.23702
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.97907	0.00438**	0.62432

HO-D6	4-5歳	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
		-	0.47260	0.67868
自覚的健康度		0.62738	0.93109	0.29889
将来への健康不安		0.16617	0.30869	0.95446
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.47544	0.18996	0.06492*

● 激しいおねだりへの対応

HO-C7

買ってほしいものがあり、店で激しくおねだりされたときはどうしましたか。

2-3歳	小2	小5	中2
1.無視してほかのことをした	7	4	9
2.ほかの交換条件で納得させた	24	16	14
3.なるべく要求に沿うよう買い与えた	9	16	16
4.ことばで言い聞かせてあきらめさせた	54	58	52
5.よくおぼえていない	7	7	19
N.A.	8	9	12
計	109	110	122

HO-D7

買ってほしいものがあり、店で激しくおねだりされたときはどうしましたか。

4-5歳	小2	小5	中2
1.無視してほかのことをした	7	6	4
2.ほかの交換条件で納得させた	18	24	13
3.なるべく要求に沿うよう買い与えた	8	8	15
4.ことばで言い聞かせてあきらめさせた	66	60	73
5.よくおぼえていない	3	7	8
N.A.	7	10	9
計	109	115	122

HO-C7	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の			
愁訴の項目の合計得点			
	-	0.51253	0.08603*
自覚的健康度	0.37090	0.00489**	0.15560
将来への健康不安	0.66584	0.31597	0.17376
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.69897	0.53458	0.48596

HO-D7	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の			
愁訴の項目の合計得点			
	-	0.47443	0.39752
自覚的健康度	0.30624	0.56370	0.24503
将来への健康不安	0.17171	0.05993*	0.53939
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.91264	0.93995	0.11812

● 叱り方

HO-C8

お子さんを叱るときどんな叱り方でしたか。

2-3歳	小2	小5	中2
1.ことばで言ってもわからないのでよく叩いて叱った	12	7	9
2.危険なことなど特定のことが原因の時に限って叩いて叱った	54	52	49
3.家から閉め出したり押し入れにいれたりする罰を与えた	3	3	3
4.いつもことばで言い聞かせた	34	38	41
5.よくおぼえていない	3	4	15
N.A.	3	6	5
計	109	110	122

HO-D8

お子さんを叱るときどんな叱り方でしたか。

4-5歳	小2	小5	中2
1.ことばで言ってもわからないのでよく叩いて叱った	19	9	8
2.危険なことなど特定のことが原因の時に限って叩いて叱った	44	50	48
3.家から閉め出したり押し入れにいれたりする罰を与えた	5	6	4
4.いつもことばで言い聞かせた	33	42	48
5.よくおぼえていない	1	2	10
N.A.	7	16	4
計	109	125	122

HO-C8	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.70590	0.55929
自覚的健康度	0.03081**	0.06344*	0.45856
将来への健康不安	0.52269	0.16342	0.67242
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.31165	0.0023**	0.20835
HO-D8	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.56804	0.00118**
自覚的健康度	0.47259	0.04329	0.10419
将来への健康不安	0.72923	0.18483	0.05519*
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.97105	0.46078	0.36220

中学2年生		愁訴			
叱り方	人	~50%	50-75	75-90	90~
1.ことばで言ってもわから ないのでよく叩いた		3	3	2	
2.危険なことなど特定のこ との時に限って叩いた		2	25	19	2
3.家から閉め出したり押し 入れにいれたりする罰		2	1	1	
4.いつもことばで言い聞 かせた		1	19	21	7
5.よくおぼえていない		1	2	7	

2.危険なことなどに限って叩くという回答と4.いつもことばで言い聞かせたという回答に集中しているため見かけ上、この二つの回答を含む5つの選択肢が独立であるように見える。

とくにある仮説を導ける結果でない。

● しつこい疑問への親の対処法

HO-D24

(4-5歳のころ) 子どもになぜ、どうしてとしつこく聞かれたらどうしていましたか。

	小2	小5	中2
1.やかましい、と行ってとりあわなかった	3	2	3
2.他の人に聞くように言った	6	11	6
3.できるだけ一生懸命答えるようにした	96	91	108
N.A.	4	6	5
計	109	110	122

HO-D24

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

自覚的健康度

将来への健康不安

やせすぎ/普通/太りすぎ

	小2	小5	中2
愁訴の項目の合計得点	-	0.80201	0.30182
自覚的健康度	0.13055	0.96255	0.60859
将来への健康不安	0.42580	0.12874	0.72539
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.13430	0.00033**	0.84945

(3) 学習

● 通園の有無

この期間に保育園(所)や幼稚園には

HO-C10

2-3歳	小2	小5	中2
1.通った	32	23	29
2.通わなかった	76	86	91
N.A.	1	1	2
計	109	110	122

HO-D10

4-5歳	小2	小5	中2
1.通った	101	101	113
2.通わなかった	3	6	5
N.A.	5	3	4
計	109	110	122

HO-C10

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

自覚的健康度

将来への健康不安

やせすぎ/普通/太りすぎ

	小2	小5	中2
愁訴の項目の合計得点	-	0.05112*	0.44671
自覚的健康度	0.09172*	0.58974	0.04328**
将来への健康不安	0.96511	0.98287	0.56387
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.65173	0.44245	0.66451

HO-D10

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

自覚的健康度

将来への健康不安

やせすぎ/普通/太りすぎ

	小2	小5	中2
愁訴の項目の合計得点	-	0.35521	0.13485
自覚的健康度	0.66958	0.05437	0.84248
将来への健康不安	0.52783	0.37326	0.48195
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.10783	0.18193	0.65040

● 習い事の有無

この期間に習い事には

HO-C11

2-3歳	小2	小5	中2
1.通った	4	3	1
2.通わなかった	103	107	118
N.A.	2	0	3
計	109	110	122

HO-D11

4-5歳	小2	小5	中2
1.通った	25	20	21
2.通わなかった	83	87	101
N.A.	1	3	0
計	109	110	122

HO-C11	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.04963**	0.69603
自覚的健康度	0.62025	0.75985	0.79918
将来への健康不安	0.87947	0.67765	0.24857
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.93854	0.35028	0.83203

HO-D11	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.02551**	0.54125
自覚的健康度	0.71541	0.01307**	0.92594
将来への健康不安	0.55119	0.41074	0.15277
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.91249	0.46938	0.25680

小学5年生 4-5歳の時の習い事 人	愁訴			
	～50%	50-75	75-90	90～
1.通った	2	3	13	3
2.通わなかった	3	49	38	10

2-3歳ではほとんど習い事に通う子どもはいない。
4-5歳の時、習い事に通ったことのある子どもは愁訴は多い方に分布。

● 早期英才教育の有無

いわゆる「早期英才教育」をしましたか

HO-C12	小2	小5	中2
2-3歳			
1.はい	2	2	1
2.いいえ	104	108	120
N.A.	3	0	1
計	109	110	122

HO-D12	小2	小5	中2
4-5歳			
1.はい	5	4	6
2.いいえ	104	103	116
N.A.	0	3	0
計	109	110	122

HO-C12	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.03470**	0.69809
自覚的健康度	0.78897	0.85575	0.79095
将来への健康不安	0.61166	0.74591	0.23973
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.38845	0.53881	0.82431

早期英才教育はほとんど行われていなかった。

HO-D12	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.09069*	0.55679
自覚的健康度	0.89981	0.68407	0.66735
将来への健康不安	0.52986	0.46877	0.64356
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.26543	0.55473	0.30915

(4) 遊び

●遊び場のようす

お子さんはどんなところであそびましたか(M.A.)

HO-C13			
2-3歳	小2	小5	中2
1.屋内	18	20	31
2.学校や児童館などの 施設の屋内	6	2	4
3.屋外のスポーツ施設	0	0	1
4.住宅地の屋外	30	21	25
5.自然の多い屋外	37	52	45
N.A.	18	15	16
計	109	110	122

HO-D13			
4-5歳	小2	小5	中2
1.屋内	31	9	19
2.学校や児童館などの 施設の屋内	15	5	7
3.屋外のスポーツ施設	0	1	0
4.住宅地の屋外	3	21	29
5.自然の多い屋外	37	52	47
N.A.	52	22	20
計	109	110	122

HO-C13

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

自覚的健康度

将来への健康不安

やせすぎ/普通/太りすぎ

小2 小5 中2

- 0.00051** 0.59055

0.73587 0.20658 0.20600

0.68611 0.42829 0.08927*

0.47032 0.81481 0.88058

HO-D13

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

自覚的健康度

将来への健康不安

やせすぎ/普通/太りすぎ

小2 小5 中2

- 0.12726 0.55802

0.99985 0.42137 0.46535

0.73246 0.85719 0.66843

0.57235 0.90215 0.98339

小学5年生 2-3歳の時の遊び場 人	愁訴			
	～50%	50-75	75-90	90～
1.屋内	1	7	11	4
2.学校や児童館などの 施設の屋内	1		1	
3.屋外のスポーツ施設	1			
4.住宅地の屋外		11	11	3
5.自然の多い屋外	2	27	23	4

2-3歳の時、主に屋内で遊んだ子どもに比較的愁訴が多い。

●集団遊びの有無

お子さんは集団であそんでいましたか

HO-C14			
2-3歳	小2	小5	中2
1.はい	48	42	47
2.いいえ	54	66	71
N.A.	7	2	4
計	109	110	122

HO-D14			
4-5歳	小2	小5	中2
1.はい	80	78	87
2.いいえ	24	25	30
N.A.	5	7	5
計	109	110	122

HO-C14

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

自覚的健康度

将来への健康不安

やせすぎ/普通/太りすぎ

小2 小5 中2

- 0.85105 0.07461*

0.88907 0.48700 0.37433

0.51838 0.93724 0.73620

0.93462 0.22149 0.93683

HO-D14	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.36246	0.61900
自覚的健康度	0.90953	0.14411	0.63293
将来への健康不安	0.38189	0.39246	0.24634
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.55690	0.51178	0.39513

● 友だちとの遊び方

HO-C15

お子さんはどのような遊び方をしましたか

2-3歳	小2	小5	中2
1.よく家に複数で遊びに来た	13	8	14
2.特定の友だちが一人で来た	11	16	13
3.友達の家遊びに行くことが多かった	19	11	13
4.さかんに行き来していた	24	23	25
5.ほとんどあそばなかった	36	42	46
N.A.	6	10	11
計	109	110	122

HO-D15

お子さんはどのような遊び方をしましたか

4-5歳	小2	小5	中2
1.よく家に複数で遊びに来た	17	15	18
2.特定の友だちが一人で来た	17	15	13
3.友達の家遊びに行くことが多かった	15	18	20
4.さかんに行き来していた	26	30	36
5.ほとんどあそばなかった	23	21	17
N.A.	11	11	18
計	109	110	122

HO-C15

小2 小5 中2

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点	-	0.86035	0.92187
自覚的健康度	0.75888	0.39490	0.09361*
将来への健康不安	0.68943	0.52470	0.80452
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.40071	0.63818	0.53696

HO-D15

小2 小5 中2

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点	-	0.64788	0.74366
自覚的健康度	0.46175	0.50425	0.01644
将来への健康不安	0.13589	0.96388	0.55203
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.41792	0.34991	0.03343**

● 友だちに叩かれたときの子の対処法

HO-C16

友達に叩かれたときお子さんはどうしていましたか

2-3歳	小2	小5	中2
1.すぐ泣いて先生や母親のところに来た	36	37	42
2.ひとりで泣いていた	29	32	35
3.叩き返した	27	22	24
N.A.	17	19	24
計	109	110	125

HO-D16

友達に叩かれたときお子さんはどうしていましたか

4-5歳	小2	小5	中2
1.すぐ泣いて先生や母親のところに来た	29	21	20
2.ひとりで泣いていた	29	36	51
3.叩き返した	33	35	27
N.A.	18	18	24
計	109	110	122

HO-C16

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

	小2	小5	中2
愁訴の項目の合計得点	-	0.76670	0.20611
自覚的健康度	0.17174	0.25732	0.08689*
将来への健康不安	0.61186	0.30169	0.24593
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.76854	0.57684	0.99231

HO-D16

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の

愁訴の項目の合計得点

	小2	小5	中2
愁訴の項目の合計得点	-	0.03237**	0.92187
自覚的健康度	0.90208	0.20749	0.46637
将来への健康不安	0.19736	0.00525**	0.80078
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.75952	0.54981	0.23224

小学5年生 4-5歳の時、友達に叩かれた時の対処法	愁訴			
	～50%	50-75	75-90	90～
1.すぐ泣いて先生や母親のところに来た	1	10	13	1
2.ひとりで泣いていた	2	23	10	6
3.叩き返した	2	10	21	5

4-5歳のころ、友達に叩かれたとき、一人で泣いていた子どもには5年生の時の愁訴が少ない。**

(5) 睡眠

● 寝具

HO-C21

2-3歳	小2	小5	中2
1.ベッド	13	9	9
2.ふとん	98	103	114
N.A.	1	3	2
計	112	115	125

HO-D21

4-5歳	小2	小5	中2
1.ベッド	21	14	14
2.ふとん	88	97	104
N.A.	3	4	2
計	112	115	125

HO-C21	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.37482	0.01076**
自覚的健康度	0.14996	0.89086	0.84898
将来への健康不安	0.26810	0.77979	0.57796
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.06814*	0.19640	0.91084

HO-D21	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.39919	0.70336
自覚的健康度	0.79791	0.35707	0.80305
将来への健康不安	0.20305	0.85663	0.16279
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.06105	0.53476	0.74119

小学5年生 寝具	人	愁訴			
		～50%	50-75	75-90	90～
1.ベッド		1	6	9	3
2.ふとん		9	43	42	7

ほとんどがふとんなので差がないが、統計上のSIGNIFICANCEは小さく計算される。

●一緒に寝る人

この期間は誰とねていましたか。

HO-C22	小2	小5	中2
2-3歳			
1.母親	70	78	89
2.父親	8	7	7
3.祖父母	2	6	6
4.一人で	13	12	13
N.A.	16	7	7
計	109	110	122

HO-D22	小2	小5	中2
4-5歳			
1.母親	42	51	42
2.父親	9	7	7
3.祖父母	2	9	7
4.一人で	39	32	53
N.A.	17	11	13
計	109	110	122

HO-C22	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.30942	0.22437
自覚的健康度	0.24942	0.98209	0.28305
将来への健康不安	0.86393	0.87148	0.20970
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.75839	0.28243	0.53567

HO-D22	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-	0.26010	0.52307
自覚的健康度	0.99600	0.42858	0.61314
将来への健康不安	0.82767	0.83493	0.55122
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.28683	0.05520*	0.87042

3. 考察

昨年パイロットスタディーに続いて今回の本調査では、北海道、岩手県、茨城県の1024組の親子に調査票を配布し、341組33.3%の親子から回答を得た。親または子のみからの回答が多かったため、両方とも回答した割合は低くなった。

生育歴によって現在の健康状態や、保健行動がどう左右されるかを考察した。両者の関係を認めたのは、

- (1)自然環境・社会環境・家庭環境については主な保育者と小学校5年生の時の愁訴（主に祖母が保育した子どもは母が保育した子どもより愁訴が多い）
- (2)しつけについては、関係ある項目はない。
- (3)学習については、4-5歳の時の習い事の経験と小学校5年生の時の愁訴の多さ、自覚的健康度
- (4)遊びについては2-3歳の時の屋内遊びが多い子どもは、現在の愁訴が比較的多い。
- (5)睡眠については、差がなかった。 などである。

また、「子どもの保健意識、保健行動は保護者の現在の保健意識、保健行動と類似する」との仮説を検討すべきだと考え、本調査では、保護者自身の保健行動についての設問を設けた。

謝辞

我々の調査に快くご協力いただきました、岐阜県揖斐郡春日村教育委員会、春日村中学校、春日村小学校の教職員のみなさま、保護者のみなさま、児童生徒のみなさまに厚く御礼申し上げます。

また、本調査にあたっては、北海道厚岸町教育委員会、真竜中学校、真竜小学校、岩手県藤沢町教育委員会、藤沢中学校、黄海中学校、藤沢小学校、新沼小学校、徳田小学校、保呂羽小学校、黄海小学校、大籠小学校、茨城県総和町教育委員会、総和北中学校、下大野小学校の教職員、児童生徒、保護者のみなさまにご協力をいただきました。併せて御礼申し上げます。

参考文献

- 1 宗像恒次ら.都市住民のストレス源と精神健康度.精神衛生研究 32,47-65.1986
- 2 Harris D.M.et.al.Health-protective behavior:an exploratory study J Health Social Behavior19,157-165.1978
- 3 Kasl S.V.et.al. Helth behavior illness behavior and sick-role behavior. Arch Environ Health I 12,246-266.1966
- 4 Kasl S.V.et.al. Helth behavior illness behavior and sick-role behavior. Arch Environ Health II 12,534-541.1966
- 5 Suchman E.A. Social pattern of illness and medical Care.J Health Human Behavior 16,2-16 .1965
- 6 Persons T. The sick role and role of the physician reconsidered.Milbank memorial fund quarterly 53,257-278. 1975
- 7 鈴木庄亮ら.新質問紙健康調査票THIの紹介.医学のあゆみ 99,217-225.1976
- 8 浅野弘明ら.東大式健康調査票(THI)成人版とジュニア版の調査結果の比較.日本衛生学雑誌 47,528. 1992
- 9 竹内一夫ら.思春期精神保健のための新しい質問票の作成について.北関東医学39,35-52.1989

付表

児童生徒と保護者の保健行動

A 保健行動・病気対処行動・ストレスコーピング

A-3
今、つらくてとても耐えられないと感じていることがありますか。

	中2
1.はい	33
2.ほとんどない	53
3.まったくない	35
N.A.	1
計	122

つらくてとても耐えられないと感じていることのある生徒が27.0%(33/122)いる。(A-3)

家庭や学校が子どもたちがこのようなことを感じていることを教員や保護者は認識し、精神保健の見地からストレスコーピングの方法を教えたり、自らが解決のための資源になりうるよう努力する必要がある。

A-5

健康と病気についての考え方についてあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.病気やけがはめったにしないので、普段は考えない。 そうなった時に考えればよい。	14	10	24
2.たまには病気やけがをすることもあるのだから、 普段の生活が制限されない程度に健康に気をつけて暮らすのがよい。	33	42	70
3.何をすることも健康が大事だから普段の生活に多少 不自由があっても体によくないことや危険なことは ほしくないほうがよい。	56	57	26
N.A.	6	1	2
計	109	110	122

A-6

健康のために何か気をつけていることがありますか。

	小2	小5	中2
1.はい	66	58	33
2.いいえ	41	52	86
N.A.	2	0	3
計	109	110	122

健康や病気についての子どもたちの考え方と行動を知るために以下の質問をした。病気やけがは、予想通り、子どもたちにとっては、あまり関心のあ
る問題ではないようだ。また、成長とともに、無関心
になる。これは、病気にかかる頻度が、少なくなる
ことが反映していると考えられる。(A-5,A-6)

A-10

かぜをひいた時、どんな手当てをしますか。あなたがよくするものにいくつでも○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.マスクをする	4	2	8
2.うがいをする	7	5	26
3.手を洗う	13	10	23
4.たまござけを飲む	17	17	34
5.熱い風呂に入る	22	23	14
6.首にネギを巻く	18	20	10
7.厚着をする	14	13	2

8.おかゆを食べる	8	14	2
9.氷枕をする	4	4	1
10.薬屋の薬を飲む 薬を塗る	0	2	0
11.病院にかかる	1	0	0
12.お寺や神社で祈る	0	0	0
13.家で神仏に祈る	0	0	0
14.何もしない	0	0	0
総 数	109	110	122

病気対処行動の一端を知るため、一般的な病気である、かぜをひいたときの対処行動を尋ねた。全年齢を通じて、薬に頼る傾向がうかがえるが、食事や清潔といった一般養護の内容は多様である。

医療人類学的考察が必要であろう。さらに、それぞれの、行為、処置法について有用性を副作用とともにに検討する必要があると思われた。(A-10)

- ・からだの調子が悪い時、最初にどのように行動しますか。次のような場合についてできるだけ自分がこうするだろうと思うものをえらんでください。

A-11 (保護者のHO-E1に対応)

朝起きると体がだるくて熱っぽく喉が痛い。が、他の症状はない。

	小2	小5	中2
1.がまんして学校へ行く	18	19	53
2.すこしようすを見てから登校するかどうかきめる	27	32	25
3.すぐ休む	6	8	6
4.家の人と相談して決める	46	51	34
N.A.	12	0	4
計	109	110	122

A-12 (保護者のHO-E2に対応)

土曜日の夜11時ごろ、おなかが痛くなった。がまんできないほどではないが寝られそうもない。

	小2	小5	中2
1.できるかぎりがまんする	12	19	40
2.すぐ家にある薬を飲む	24	30	47
3.病院に連れて行ってくれるよう家の人に頼む	12	5	3
4.家の人と相談して言うとおりにする	48	54	27
N.A.	13	2	5
計	109	110	122

A-13

何日かの間、体の調子が悪くて、自分ではどうしたらよいかわからない場合、誰に相談しますか。

	小2	小5	中2
1.家族	78	90	77
2.学校の先生	1	1	1
3.学校の保健室の先生	6	4	13
4.友人(先輩後輩を含む)	6	5	9
5.医療機関(病院)	2	3	2
6.その他	16	7	4
N.A.	0	0	16
計	109	110	122

からだの調子が悪い時、どう対処するかとの問いで病気対処行動の把握を試みた。A-11は、比較的軽微な体調不良にどう対処するかを尋ねた結果を示す。小学校低学年でも自分で行動を決められることがわかる。これに対し、やや症状が重くなると、薬を飲む、うちの人と相談する、が増える。(A-12)しかし、慢性化すると、圧倒的に家族に相談する者が多く、学校や養護教諭、医療機関はほとんど利用されない。(A-13)

自分では解決できないような問題は、子どもたちでなくとも、誰しも経験するところであるが、このようなときに頼りになる、人的資源、ネットワークの有無が、問題解決に寄与するといわれる。ところが、A-14に見るように、頼りになる人がいないものもあり、中学生では14.8%(18/122)に上っている。これは、社会問題化して久しいいわゆるじめ問題や不登校、学校における人権侵害などの問題と関連していると考えられる。

- ・困ったことが発生し、自分の力では解決できない場合についておたずねします。

A-14

こんな時、頼りになる人はいますか。

	小2	小5	中2
1.いる	103	101	101
2.いない	6	6	18
N.A.	0	3	3
計	109	110	122

A-15

(A-14について)それはだれですか

	小5	中2
1.家族	63	34
2.学校の先生	1	0
3.学校の保健室の先生	0	4
4.友人(先輩後輩を含む)	25	42
5.ここにかいてないひと	2	1
N.A.	19	41
計	110	122

頼りになる人がだれか(A-15)との問いにはA-12,A-13と同様、家族をあげる者が多く学校の教員、養護教諭をあげる者は少なかった。また、この2問にくらべ特に中学2年生で友人をあげる者が34.4%(42/122)と多いのもめだった。

このような保健行動が生育歴とどう関係するかについては今回の調査では、明らかな結論は下せなかった。

A-16

いらいらしたり、おこったり、むかむかしたりすることがありますか

	小5	中2
1.よくある	45	44
2.ときどきある	61	57
3.ほとんどない	0	8
4.まったくない	3	1
N.A.	1	2
計	110	122

子どもたちの間でいらいらしたり、むかついたりすることが多くなっているとの感想が子どもに接する機会の多い人々から指摘されている。この調査でもこのような実態があきらかになった。よく、ときどきを合わせると、小学5年生で96.4%(106/110)、中学2年生では、82.3%(101/122)がこのような感情を抱いて生活していることになる。(A-16)

このような場合の対処は概ね昇華、発散の望ましい方向にあるが、やつあたり、がまんなどの対処方法もみられる。(A-17)

A-17

いらいらしたり、おこったり、むかむかしたりする時はどうしますか

	小5	中2
1.スポーツやあそびできをまぎらわせる	35	23
2.ともだちといっしょにいっしょうけんめいあそぶ	13	27
3.ともだちや小さい子をいじめてうつぶんをはらす	4	0
4.先生をこまらせてうつぶんをはらす	0	1
5.家族にやつあたりする	12	11
6.じつとがまんする	17	25
7.ここにかいてないこと	17	9
N.A.	12	26
計	110	122

A-18 (保護者のHO-F1に対応)

歯磨きについてのあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.虫歯予防のためにたいいていしている	87	80	62
2.さっぱりと気持ちよくなるためにする	7	13	33
3.みんながしている習慣だからする	1	2	8
4.普通の中学生なら歯を磨くものであるから	2	9	5
5.歯磨きはきれいなのであまりしない	8	4	6
N.A.	4	2	8
計	109	110	122

A-19(保護者のHO-F2に対応)

予防接種についてのあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.病気の予防のために受ける	92	99	91
2.みんなが受けるから受ける	5	7	21
3.普通の中学生なら予防接種は受けるものである	9	3	9
N.A.	3	1	1
計	109	110	122

A-20(保護者のHO-F3に対応)

健康のための運動についてのあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	中2
1.運動は健康増進のためしている	22
2.運動は習慣だからする	7
3.普通の中学生なら運動はするものである	14
4.楽しいから運動する	60
5.ほとんどしない	17
N.A.	2
計	122

A-21(保護者のHO-F4に対応)

たばこについてあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.たばこは病気の原因なので吸ってはいけない	75	63	45
2.たばこは大人は吸っても良いが小学生(中学生)はいけない	28	19	15
3.普通の小学生(中学生)ならたばこはすわないものだ	0	6	14
4.たばこはきれいなので吸いたくない	2	14	42
N.A.	4	8	6
計	109	110	122

学校保健の現場で主に取り上げられやすい歯磨き、予防接種と、成人病予防や健康的な生活習慣の形成に関係する運動、たばこについて考えを聞いた。

学校での指導は学年が低いほど、よく浸透している。しかし、中学2年生では、健康のためにするという答えは相対的に減少し、代わりに習慣や周囲に合わせる行動が増加してくる。(A-18,19)

運動については、意識しないで楽しくすることがこの時期に重要であると考えられるが、この時期の運動はほとんどが部活動での競技スポーツに偏ってい

るのが現状である。将来の運動習慣の形成にどれほどの影響を与えるかが興味ある今後の課題である。また、ほとんど運動しない生徒が13.9%(17/122)もいることに注意する必要がある。(A-20)

たばこについては、健康上の問題としてより、非行の問題としてとらえられているのではないかとの仮説のもとに考えを聞いた。年長になり、喫煙が身近になるほど、健康の問題としての回答が減少するのはその反映であろう。健康の観点からの保健指導が期待される。(A-21)

- ・お子さんのからだの調子が悪い時、最初にどのように行動しますか。次のような場合についてできるだけ自分がこうするだろうと思うものをえらんでください。

HO-E1 (児童生徒のA-11に対応)

朝起きると体がだるくて熱っぽく喉が痛い。が、他の症状はない。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.がまんして学校へ行くよういう	7	95	16
2.すこしうすを見てから登校させるかどうかきめる	48	10	53
3.すぐ休ませる	15	4	13
4.お子さんと相談して決める	37	0	35
N.A.	2	1	5
計	109	110	122

HO-E2 (児童生徒のA-12に対応)

土曜日の夜11時ごろ、おなかが痛くなった。がまんできないほどではないが寝られそうもない。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.できるかぎりがまんさえる	7	10	7
2.すぐ家にある薬を飲ませる	58	73	75
3.すぐ病院に連れて行く	15	9	10
4.お子さんと相談して言うとおりにする	37	14	18
N.A.	2	4	12
計	109	110	122

・このアンケートを記入して下さった方の健康に関する質問です。

HO-F1 (児童生徒のA-18に対応)

歯磨きについてのあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.虫歯予防のためにたいいていしている	77	77	84
2.さっぱりと気持ちよくなるためにする	22	28	28
3.みんながしている習慣だからする	3	1	2
4.普通のおとななら歯を磨くものであるから	0	1	2
5.歯磨きはきらいなのであまりしない	4	1	3
N.A.	3	2	2
計	109	110	122

HO-F2 (児童生徒のA-19に対応)

予防接種についてのあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.病気の予防のために受ける	102	105	113
2.みんなが受けるから受ける	1	2	2
3.普通のおとななら決められた予防接種は受けるものである	2	1	3
N.A.	4	2	4
計	109	110	122

HO-F3 (児童生徒のA-20に対応。ただし中2のみ)

健康のための運動についてのあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.運動は健康増進のためしている	44	47	54
2.運動は習慣だからする	0	1	1
3.普通の中学生なら運動はするものである	1	0	1
4.楽しいから運動する	31	30	26
5.ほとんどしない	31	31	35
N.A.	2	1	5
計	109	110	122

HO-F4 (児童生徒のA-21に対応)

たばこについてのあなたの考え方と一番近いものを一つ選んで○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.たばこは病気の原因なので吸ってはいけない	43	42	53
2.たばこは大人は吸っても良いが小学生(中学生)はいけない	14	15	17
3.普通の小学生(中学生)ならたばこはすわないものだ	4	4	6
4.たばこはきらいなので吸いたくない	31	37	32
5.たばこはストレス解消のために必要なものだ	14	10	7
N.A.	3	2	7
計	109	110	122

B-1家族の健康のために何かしていることがありますか。

	中2
1.はい	39
2.いいえ	81
N.A.	2
計	122

保健行動に関連して家族の健康に子どもがどのようにかかわっているかをみると、身近なことでのかかわりが主で、特に注目すべき結果は得られなかった。

B-3(保護者のHO-G1に対応)

お年寄りが家族や身近にいますか。

	小2	小5	中2
1.はい	56	70	84
2.いいえ	47	38	36
N.A.	6	2	2
計	109	110	122

かぞくの人のけんこうのために なにかしてあげていることがあればつぎのしかくにかいてください。(小学2,5年生)

お年寄りについての考え方は、身近にいるかどうかによって左右される。身近にいる者の方が敬遠気味で、いない者は建て前で答えているものと推察される。

また、B-4にみるように、こづかいをくれるなど

の理由で大切にしたいという現実的な者も大変多い。

障害を持ったお年寄りの処遇については、家族中心の考え方が根強い。しかし、年齢が進むほど公的援助を指向する者が増加している。(B-5)

B-4(保護者のHO-G2に対応)

お年寄りのことをどう思いますか。

	小2	小5	中2
1.長い間、社会のために働いてきたのでみんなで大切にしたい	59	48	59
2.こづかいをくれたり、小さいときに世話をしてくれたので大切にしたい	34	53	43
3.話がぐどかったり、叱られたりすることがあるので、あまり近くにいるほしくない	5	6	15
4.身の回りの世話をみんなですてあげなくてはならないので家族のじゃまものになっている	3	0	2
N.A.	8	3	3
計	109	110	122

B-5(保護者のHO-G3に対応)

からだの不自由なお年よりが家で身のまわりの世話をされながら暮らすことについてどう思いますか。

	小2	小5	中2
1.なるべく家族が助け合って家で暮らすのがよい	79	85	85
2.病院で看護婦さんやお医者さんの世話を受けながら暮らすのがよい	15	8	6
3.老人ホームで暮らすのがよい	2	9	13
4.お年寄りが自分でどこで暮らすかを決め、それを国や役場が税金を使って助けるのがよい	3	3	13
5.お年寄りは家族を頼らず、自分で世話をしてくれる人を頼んで暮らすのがよい	3	1	1
N.A.	7	4	4
計	109	110	122

B-6(保護者のHO-G4に対応)

体の不自由な人が身近にいますか。

	小2	小5	中2
1.はい	31	39	23
2.いいえ	70	68	96
N.A.	8	3	3
計	109	110	122

B-7(保護者のHO-G5に対応)

駅でからだの不自由な人がキップを買うことができずに困っているところへあなたがひとりで通りかかった場合、どうしますか。ふだんのあなたならこうするだろうと思うもの一つに○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.無視して通り過ぎる	3	9	7
2.何かお手伝いしましょうかと聞く	36	34	25
3.手伝ってほしいといわれる前に手助けする	36	28	29
4.手伝ってあげたいがどうしたらいいかわからないのでそのまま通り過ぎる	15	23	39
5.駅員に困っている人がいるようだという	6	15	13
6.その他	2	0	2
N.A.	11	1	7
計	109	110	122

B-8(保護者のHO-G6に対応)
知恵遅れの人が身近にいますか。

	小2	小5	中2
1.はい	13	25	53
2.いいえ	88	81	68
N.A.	8	4	1
計	109	110	122

B-9(保護者のHO-G7に対応)

友達と遠くへ出かけたとき、乗り物の中で知恵遅れの中学生と同じ席になり、一緒に遊んだり話をしたりしたいと言われた場合、どうしますか。普段のあなたならこうするだろうと思うもの一つに○をつけてください。

	小2	小5	中2
1.すぐに一緒に遊んだり話したりする	55	52	25
2.適当に相手をする	14	32	68
3.無視して他の席に移動する	9	6	5
4.どうしたらよいかわからないので他の席に移動する	25	18	15
5.その他	0	0	6
N.A.	6	2	3
計	109	110	122

B-10(保護者のHO-G8に対応)

からだの不自由な人やお年寄りのためにいろいろな福祉制度や機関がありますが、こういった福祉制度はこれからどうしたらいいと思いますか。

	小2	小5	中2
1.みんなから集めた税金を中心に運営する	34	67	68
2.からだの不自由な人やお年寄りとその家族から集めたお金を中心に運営する	15	7	2
3.福祉に関心のある人の寄付金を中心に運営する	12	6	8
4.税金と寄付金を中心に運営する	8	22	31
5.税金とからだの不自由な人やお年寄りとその家族から集めたお金を中心に運営する	30	5	3
6.寄付金とからだの不自由な人やお年寄りとその家族から集めたお金を中心に運営する	0	0	5
N.A.	10	3	5
計	109	110	122

HO-G1(児童生徒のB-3に対応)

お年寄りが家族や身近にいますか。

子どもの学年	小2	小5	中2
1.はい	85	97	101
2.いいえ	22	12	20
N.A.	2	1	1
計	109	110	122

HO-G2(児童生徒のB-4に対応)

お年寄りのことをどう思いますか。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.長い間、社会のために働いてきたのでみんなで大切にしたい	73	82	83
2.こづかいをくれたり、小さいときに世話をしてくれたので大切にしたい	18	15	16
3.話がぐどかったり、叱られたりすることがあるので、あまり近くにいてほしくない	12	5	13
4.身の回りの世話をみんなですてあげなくてはならないので家族のじゃまものになっている	1	2	0
N.A.	5	6	10
計	109	110	122

HO-G3(児童生徒のB-5に対応)

からだの不自由なお年よりが家で身のまわりの世話をされながら暮らすことについてどう思いますか。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.なるべく家族が助け合って家で暮らすのがよい	77	73	76
2.病院で看護婦さんやお医者さんの世話を受けながら暮らすのがよい	3	7	8
3.老人ホームで暮らすのがよい	5	4	4
4.お年寄りが自分でどこで暮らすかを決め、それを国や役場が税金を使って助けるのがよい	15	20	25
5.お年寄りは家族を頼らず、自分で世話をしてくれる人を頼んで暮らすのがよい	0	0	1
N.A.	9	6	8
計	109	110	122

HO-G4(児童生徒のB-6に対応)

体の不自由な人が身近にいますか。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.はい	23	34	30
2.いいえ	85	75	88
N.A.	1	1	4
計	109	110	122

HO-G5(児童生徒のB-7に対応)

駅でからだの不自由な人がキップを買うことができずに困っているところへあなたがひとりで通りかかった場合、どうしますか。ふだんのあなたならこうするだろうと思うもの一つに○をつけてください。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.無視して通り過ぎる	1	0	1
2.何かお手伝いしましょうかと聞く	77	72	76
3.手伝ってほしいといわれる前に手助けする	15	16	21
4.手伝ってあげたいがどうしたらいいかわからないのでそのまま通り過ぎる	10	10	12
5.駅員に困っている人がいるようだという	4	5	5
6.その他	1	3	2
N.A.	1	4	5
計	109	110	122

HO-G6(児童生徒のB-8に対応)

知恵遅れの人が身近にいますか。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.はい	13	19	19
2.いいえ	91	89	101
N.A.	5	2	2
計	109	110	122

HO-G7(児童生徒のB-9に対応)

友達と遠くへ出かけたとき、乗り物の中で知恵遅れの中学生と同じ席になり、一緒に遊んだり話をしたりしたいと言われた場合、どうしますか。普段のあなたならこうするだろうと思うもの一つに○をつけてください。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.すぐに一緒に遊んだり話をしたりする	37	24	28
2.適当に相手をする	56	68	79
3.無視して他の席に移動する	0	0	0
4.どうしたらよいかかわからないので他の席に移動する	12	13	8
5.その他	2	0	2
N.A.	2	5	5
計	109	110	122

HO-G8(児童生徒のB-10に対応)

からだの不自由な人やお年寄りのためにいろいろな福祉制度や機関がありますが、こういった福祉制度はこれからどうしたらいいと思いますか。

	子どもの学年		
	小2	小5	中2
1.みんなから集めた税金を中心に運営する	50	67	63
2.からだの不自由な人やお年寄りとその家族から集めたお金を中心に運営する	1	0	2
3.福祉に関心のある人の寄付金を中心に運営する	0	0	1
4.税金と寄付金を中心に運営する	50	32	40
5.税金とからだの不自由な人やお年寄りとその家族から集めたお金を中心に運営する	4	7	10
6.寄付金とからだの不自由な人やお年寄りとその家族から集めたお金を中心に運営する	0	0	2
N.A.	4	4	4
計	109	110	122

HO-B1

妊娠がわかったときどう感じましたか。

	小2	小5	中2
1.期待していたのでうれしかった	70	71	76
2.予想外の妊娠だったがうれしかった	35	27	28
3.予想外の妊娠で当惑し中絶も考えた	2	7	5
4.よく覚えていない	2	4	12
N.A.	0	1	1
計	109	110	122

●妊娠を期待されていたかHO-B1

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の
愁訴の項目の合計得点

	小2	小5	中2
自覚的健康度	0.00293**	0.44578	0.21659
将来への健康不安	0.36638	0.71195	0.86915
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.71817	0.93803	0.01783**

HO-B2

生まれた時、両親の仲はどうでしたか。

	小2	小5	中2
1.なかよし	106	108	115
2.不仲	0	0	5
3.別居状態	2	0	0
4.係争関係	0	0	0
N.A.	1	2	2
計	109	110	122

HO-B4

乳児期にお母さんは仕事を持っていましたか。

	小2	小5	中2
1.はい	45	65	63
2.いいえ	63	45	58
N.A.	1	0	1
計	109	110	122

●両親の仲

HO-B2

東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の
愁訴の項目の合計得点

	小2	小5	中2
自覚的健康度	0.80452	-	0.37316
将来への健康不安	0.15564	-	0.20830
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.71817	-	0.17407

● 母の就業の有無	HO-B3	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点		-		
自覚的健康度		0.85799	0.73659	0.55260
将来への健康不安		0.98601	0.90913	0.40209
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.39628	0.07685	0.46000

HO-B3

妊娠前にお母さんは仕事を持っていましたか。

	小2	小5	中2
1.はい	60	82	86
2.いいえ	49	28	36
N.A.	0	0	0
計	109	110	122

● 母親の就業の有無	HO-B4	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)のタイプ		-		
愁訴の項目の合計得点		-		
自覚的健康度		0.12691	0.75444	0.31369
将来への健康不安		0.48748	0.68399	0.30494
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.27536	0.93871	0.76372

● 新生児期の入院の有無	HO-B6	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点		-		
自覚的健康度		0.89170	0.72057	0.02725**
将来への健康不安		0.68241	0.32579	0.61369
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.58677	0.37391	0.83003

HO-B6

生まれてから1カ月以内に病気で入院したことがありますか。

	小2	小5	中2
1.はい	7	5	1
2.いいえ	102	105	121
N.A.	0	0	0
計	109	110	122

ほとんどのこどもが仲の良い両親の元に期待のうちに生まれ、健康に成長した。

HO-B7

乳児期の栄養は。

	小2	小5	中2
1.母乳	33	26	40
2.混合	52	55	47
3.ミルク	22	28	33
N.A.	2	1	2
計	109	110	122

乳児期の生活は多様だが、3年ずつ時代がうつっていくにもかかわらず、母乳、離乳食の傾向は変わらなかった。(HO-B7、8)

これに対し、紙おむつの使用は急速に増加している。(HO-B9)

トイレのしつけにも差がない。(HO-B10)

だっこの方法は多様である。(HO-B11)

これらの生活態様と子どもたちの現在の健康状態との関係は見いだせなかった。

HO-B8

離乳食は自分で作りましたか。

	小2	小5	中2
1.ほとんど自家製	60	62	72
2.半々	48	47	48
3.ほとんど既成のもの	0	1	1
N.A.	1	0	1
計	109	110	122

● 乳児期の栄養法（母乳、人工栄養、混合）HO-B7	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-		
自覚的健康度	0.17154	0.78720	0.89712
将来への健康不安	0.97444	0.23585	0.65744
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.82440	0.42039	0.44296

● 離乳食の作り方 HO-B8	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-		
自覚的健康度	0.13519	0.36110	0.78124
将来への健康不安	0.96221	0.52127	0.76633
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.27187	0.88083	0.35555

HO-B9

おむつは何を使いましたか。

	小2	小5	中2
1.紙おむつ	21	4	4
2.ほぼ半々	43	21	6
3.布おむつ	41	85	110
N.A.	4	0	2
計	109	110	122

HO-B10

トイレのしつけはどうしましたか。

	小2	小5	中2
1.早くから厳しくした	11	6	5
2.段階的に進めた	78	79	83
3.とくにしなかった	20	24	33
N.A.	0	1	1
計	109	110	122

● おむつの種類 HO-B9	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-		
自覚的健康度	0.86631	0.11775	0.15629
将来への健康不安	0.48021	0.41532	0.12824
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.11192	0.76328	0.67142

● トイレトレーニングの方法HO-B10	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-		
自覚的健康度	0.28611	0.78158	0.78863
将来への健康不安	0.65368	0.12961	0.17591
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.63547	0.52183	0.63910

● 抱き方 HO-B11	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点	-		
自覚的健康度	0.34031	0.46209	0.33337
将来への健康不安	0.19465	0.79182	0.26116
やせすぎ/普通/太りすぎ	0.13372	0.00747*	0.90304

HO-B11

乳児期にどのように抱っこやおんぶをしていましたか。

	小2	小5	中2
1.抱っこが主	46	36	31
2.顔が親と同じ方向のおんぶ	47	52	66
3.顔が親と反対方向に向いたおんぶ	9	16	13
4.その他	2	0	7
N.A.	5	0	5
計	109	110	122

●探索行動への対応	HO-B12	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.50949	0.90033	0.79042
将来への健康不安		0.11314	0.16338	0.91478
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.82939	0.14236	0.06428*

HO-B12

お子さんが家じゅうをちらかして何かを探すような行動をしているのを見つけた時、どうしましたか。

子どもの探索行動については、理解を示し、観察している親が多い。(HO-B12)

	小2	小5	中2
1.ほめた	2	1	2
2.叱った	45	42	51
3.納得するまで観察した	52	58	48
N.A.	10	9	21
計	109	110	122

●父親の育児参加(おむつ交換)	HO-B13	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.36072	0.49390	0.38703
将来への健康不安		0.74555	0.56840	0.45259
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.99541	0.27369	0.11974

HO-B13

お父さんはこの時期におむつを換えましたか。

	小2	小5	中2
1.はい	30	15	18
2.ときどきした	46	52	44
3.換えなかった	33	41	58
N.A.	0	2	2
計	109	110	122

●父親の育児参加(入浴)	HO-B14	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.36072	0.57365	0.23269
将来への健康不安		0.74555	0.08700	0.66268
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.99541	0.13902	0.72237

HO-B14

お父さんはこの時期にお子さんを風呂にいれましたか。

	小2	小5	中2
1.はい	71	66	61
2.ときどきした	33	32	35
3.入れなかった	5	10	24
N.A.	0	2	2
計	109	110	122

● 父親の育児参加（休日遊ぶ）	HO-B15	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.36687	0.06995*	0.05732*
将来への健康不安		0.26514	0.74005	0.64805
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.50180	0.19692	0.58044

HO-B15

お父さんはこの時期にお子さんと休日に遊びましたか。

	小2	小5	中2
1.はい	72	51	56
2.ときどきした	35	51	52
3.遊ばなかった	2	6	13
N.A.	0	2	1
計	109	110	122

● 健康状態	HO-C17	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.09753*	0.00000**	0.80702
将来への健康不安		0.50028	0.22974	0.91269
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.55002	0.41339	0.27472

● 健康状態	HO-D17	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.41120	0.00001**	0.17308
将来への健康不安		0.45308	0.15511	0.28189
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.68736	0.65165	0.11436

HO-C17

2～3歳のお子さんの健康状態はどうでしたか。

	小2	小5	中2
1.慢性の病気で定期的に受診していた	6	5	3
2.慢性の病気で定期的に受診しており日常生活に支障があった	5	1	1
3.普段は健康だったが、よく熱をだすなどして、医療機関に年6回以上かかった	36	28	36
4.健康で医療機関にかかったのは年5回以下だった	60	71	80
N.A.	2	5	2
計	109	110	122

HO-D17

4～5歳のお子さんの健康状態はどうでしたか。

	小2	小5	中2
1.慢性の病気で定期的に受診していた	10	6	3
2.慢性の病気で定期的に受診しており日常生活に支障があった	2	1	1
3.普段は健康だったが、よく熱をだすなどして、医療機関に年6回以上かかった	23	26	30
4.健康で医療機関にかかったのは年5回以下だった	43	73	86
N.A.	1	4	2
計	109	110	122

この期間に入院しましたか。

HO-C18			
2-3歳	小2	小5	中2
1.はい	12	10	8
2.いいえ	97	100	112
N.A.	0	0	2
計	109	110	122

HO-D18			
4-5歳	小2	小5	中2
1.はい	12	8	13
2.いいえ	96	100	108
N.A.	1	2	1
計	109	110	122

●入院の有無	HO-C18	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点		-	-	-
自覚的健康度		0.54642	0.87933	0.44384
将来への健康不安		0.23353	0.63916	0.77318
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.60221	0.54858	0.08196*

●入院の有無	HO-D18	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点		-	-	-
自覚的健康度		0.55436	0.60586	0.51554
将来への健康不安		0.49416	0.91353	0.79023
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.90774	0.87075	0.43765

●食欲	HO-C19	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点		-	-	-
自覚的健康度		0.48283	0.02853**	0.68664
将来への健康不安		0.25649	0.92487	0.59529
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.38010	0.03991**	0.34507

●食欲	HO-D19	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の 愁訴の項目の合計得点		-	-	-
自覚的健康度		0.56230	0.15334	0.81569
将来への健康不安		0.18526	0.26468	0.65468
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.40009	0.13356	0.09058*

食欲はありましたか。

HO-C19			
2-3歳	小2	小5	中2
1.はい	90	93	103
2.いいえ	18	16	18
N.A.	1	1	1
計	109	110	122

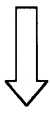
HO-D19			
4-5歳	小2	小5	中2
1.はい	95	98	107
2.いいえ	12	11	13
N.A.	2	1	2
計	109	110	122

食べ物の好き嫌いはありましたか

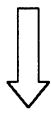
HO-C20			
2-3歳	小2	小5	中2
1.はい	44	45	
2.いいえ	64	65	
N.A.	1	0	
計	109	110	

HO-D20			
4-5歳	小2	小5	中2
1.はい	51	50	52
2.いいえ	53	57	67
N.A.	5	3	3
計	109	110	122

● 食べ物の好き嫌い	HO-C20	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.28814	0.16586	0.96395
将来への健康不安		0.41420	0.77123	0.43394
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.05236*	0.34806	0.08230*
● 食べ物の好き嫌い	HO-D20	小2	小5	中2
東大式健康調査票ジュニア版(THI-J)の				
愁訴の項目の合計得点				
自覚的健康度		0.64654	0.15277	0.52658
将来への健康不安		0.68452	0.72035	0.76485
やせすぎ/普通/太りすぎ		0.25090	0.31063	0.10188



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要 約:乳幼児期の運動や育児法などの生活態様がその後の保健行動、健康状態に与える影響を明らかにするため、北海道 A 町、岩手県 F 町、茨城県 S 町の小学校 2 年生、 5 年生、中学 2 年生とその保駿者 1024 組を対象に自記式調査票を用いた調査を施行し、全体で 33.3%から回答を得た。